

進路指導～中学部の取組～

進路係では、小・中・高等部で連携した取組を行うために、それぞれの学部で4つの観点をあげて指導に取り組んでいます。今回は、中学部の具体的な取組について紹介します。

中学部の4つの観点とは・・・？

- ① 基本的な生活習慣を身に付ける
- ② 自分のことは自分でしようとする
- ③ 人との適切なかかわり方を身に付ける
- ④ 集団の中での所属感や役割意識をもつ

具体的な取組例 【④集団の中での所属感や役割意識をもつ】



中学部は、小学部からの積み重ねを引き継ぎつつ、高等部への進学、さらには社会自立に向けて必要な力は何かを常に考えながら指導しています。

(中学部進路指導担当)

★福祉関連行事の延期のお知らせ★

夏休みには、多くの福祉関連行事が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症対策として以下のように変更されています。例年と対象学年や会場が異なっていることがあります。また、ご案内を配付いたしますので、ご確認ください。

行事名	日時	会場	参加対象者
生活介護事業所説明会	10/24 (土) 10:00～	倉敷まきび支援学校 体育館	高等部1・2年生
倉敷市福祉制度説明会	中止	資料配布またはHP上に動画 公開で対応予定	高等部1～3年生
生活・働くについて知る会	9/17 (木) 11:00～	倉敷支援学校 体育館(参観日の後)	高等部2年生

本校の卒業生がメディアで紹介されました

7月3日の山陽新聞朝刊で本校卒業生（令和元年度卒）の土居唯音さん（就労移行支援事業所 irodori 利用）の活動の様子が紹介されました。（7月10日放送のKSBニュースでも放送されました）

土居さんは、就労移行支援事業所で、就職するために必要な力をつけるために日々頑張っています。記事には、マスクの装飾を作っている時のインタビューが掲載されていて、土居さんは「小さい子はこんなデザインが似合うから、着けてもらいたい」と、自分の思いを伝えていました。生き生きと装飾を作成する写真が添えられていました。

本校では例年夏休みに進路担当者や旧担任を中心に卒業生のアフターケアを行っています。今回は、卒業生の方から学校にステキな便りをいただく形になりました。

特定非営利活動法人 彩 irodori （就労移行支援）

倉敷市水島西栄町1-25



※就労移行支援とは・・・企業への就職を目指す場合に、一定期間（2年間）就労に必要な知識の習得・訓練・就職に向けた支援を行う福祉サービスの1つです。

新規事業所のご紹介をします

くらしき教育発達研究所 さいころ （自立訓練）

倉敷市白楽町132-1 建部ビル3F



■活動内容

- ・体調衛生管理、生活技能訓練、運動、調理、事業所見学、余暇・移動訓練など



※自立訓練（生活訓練）とは・・・自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間（2年間）、生活能力の向上のために必要な訓練を行う福祉サービスの1つです。

（高等部進路指導担当）

*今回ご紹介した施設やそれ以外の施設（4月に配布した事業所一覧をご参照ください）に見学の希望がありましたら、必ず担任に伝えてください。学校で見学日時の調整をし、見学の期日等をお伝えします。（個別に事業所へ連絡されるのはご遠慮ください）

*調整する期間が必要ですので、希望する日時については、翌週以降で複数日教えてください。

*一般企業（特例子会社は除く）は個別の見学ができません。ご了承ください。